

平成 31 年度不祥事根絶のための行動計画

【不祥事防止に向けた本校の決意】

呉市立下蒲刈中学校
作成責任者 校長 柿林 浩彦

キャッチコピー『迷ったら相談！ 困ったら相談！』

私たち下蒲刈中学校教職員は、不祥事を根絶していくための職場環境と人間関係を構築したうえで、組織で仕事を進めていくことにより、本校から不祥事を絶対に出さないことを決意します。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○サービス研修において、伝達が中心となっており、自分だったらどうするか、自分は今後どのようにしていくか等の当事者意識を高めることができる研修を推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○サービス研修の方法や内容、実施する時期等を直すとともに、より一層体験的な研修を実施していくことにより、当事者意識を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意見交換やロールプレイ等の参加型・体験的な研修をより一層充実させていく等、サービス研修の方法や内容等を改善する。 ○自分たちの身の回りに、不祥事やヒヤリハットにつながる状況がないか日常的に点検する。 ○記者発表資料や新聞報道等を活用し、タイムリーな研修を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期に1回以上、サービスに関するチェックシート等を活用して、研修内容や自分の言動について振り返る場をもつ。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止についての当事者意識を高め、互いに支え合う組織を構築していく必要がある。 ○情報処理や情報管理等において、教職員個人の技量に依存しがちであり、チェック体制などのシステムの構築が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャッチコピー『迷ったら相談！困ったら相談！』を掲げ、組織で仕事を進めていく意識を高める。 ○複数の教職員によるチェックなど効率良いチェック体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○時や場、方法等を変えながら、自分で何度も確認する等、自分の仕事に責任をもつ意識をより一層高めるとともに、互いに支え合う人間関係を構築する。 ○より良いチェック体制を全教職員で検討することによって、最善のチェック体制を開発していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○月1回の不祥事防止委員会において、情報交換を行い、現状を把握・点検する。 ○定期試験ごとに、チェック体制が機能しているかを点検・確認する。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」やスクールカウンセラーなどを活用した相談体制について、全生徒・全保護者に周知・認知しきれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝会や集会等を利用して、「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」やスクールカウンセラーへの相談の周知を繰り返し、相談しやすい体制を構築する。 ○計画的・定期的な教育相談を設定し、学校と生徒・保護者との信頼関係を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だより等で繰り返し周知するとともに、校舎内すべての教室に、担当の教職員を明示したポスターを掲示する。 ○日頃からの人間関係づくりに努め、生徒の変化に気を付け、生徒の心に寄り添った指導をする。 ○常に情報共有を図り、報告・連絡・相談及び確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年6回（定期試験週間）の相談週間や年3回の生徒・保護者及び教職員対象アンケートを実施する。 ○週1回の企画委員会等において、情報共有を図る。

